

## 令和4年度 福祉こども部の運営方針

部	福祉こども部	部長	森口 秀樹
---	--------	----	-------

### 【基本方針】

「安全で安心して健やかに暮らせるまち」を実現するための関係する取組を政策目標とします。目標を達成するため、支援を必要とする市民一人ひとりのニーズを的確に把握しながら、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らすことができるまちを目指し、生活困窮世帯の自立支援、障害者の自立支援、妊娠から子育てを経て18歳までの総合的な支援、福祉サービスの質の向上と確保等、多岐にわたる課題に対し、部内連携体制を強化しつつ総合的に取り組みます。

### 【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	地域福祉	令和4年度 達成状況
	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進					B
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	障害者福祉	令和4年度 達成状況
	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりの推進					B
3	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和4年度 達成状況
	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実					B
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和4年度 達成状況
	子どもの健やかな成長を支援するための子育て世帯への支援の充実					B
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和4年度 達成状況
	保育環境の充実と入所枠の適正化					B
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野		令和4年度 達成状況
	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営による良質なサービスの確保					B

#### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 1	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進
--------	----------------------

今年度の達成目標
ひきこもり状態の方々等の居場所を拡充し、共生の意識を醸成します。



達成状況	達成度
社会的居場所づくり事業は目標どおり達成できましたが、地域住民懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できず、共生の意識醸成を十分には、図れませんでした。	C 一部達成

今年度の達成目標
地域で生活に困窮するなど、支援を必要とする方の多様な課題に対応します。



達成状況	達成度
生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」において、通常の窓口相談に加え、オンラインによる相談を13回実施することで、多様な課題への対応を図ることができました。	A 達成



具体的取組
社会的居場所を運営するボランティア団体やグループに対し、4団体を目標に活動補助します。また、地域住民懇談会を3回開催します。



具体的な取組実績
令和4年度は、「子どもや高齢者の集まりの場」「地域交流サロン」「農作業を通じて交流を図れる場」などを開催する4団体に対して活動補助することで社会的居場所づくりの推進を図りました。また、地域懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができませんでした。

所管室・課	福祉総務課
具体的取組	
相談窓口での様々な相談に引き続き対応するとともに、生活困窮者オンライン相談を年間12回以上行うなど、多様な相談機会を提供します。	
所管室・課	福祉総務課



具体的な取組実績
生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」において、通常の相談窓口に加え、オンライン相談を13回行い、多様な相談機会の提供に取り組みました。



総合評価・総括
生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」に窓口担当員を配置し、初めて相談に来られた方の初期対応を専門に行うことで、相談支援員が支援内容の検討や関係機関の調整などに専念できる相談体制の強化を図ることができました。また、社会的居場所づくりの活動をしている団体を支援することで、団体が活動しやすい環境の推進を図り、自宅以外に居場所がないと感じている方が安心して過ごせる場所の確保に努めました。

全体の達成度
B
概ね達成

今後検討すべきこと
新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮になられた方の相談件数の増加が見込まれるため、関係機関の連携を強化し、より相談者に寄り添った適切な支援ができる体制の構築を検討します。また、地域とのつながりが薄い人や引きこもっている人の社会参加を支援するために実施している「社会的居場所づくり事業」のより効果的な取組を検討します。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 2	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりの推進
--------	-----------------------------------

<b>今年度の達成目標</b>
第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画に掲げた今年度の成果目標及活動指標を達成します。
<b>今年度の達成目標</b>
障害児支援事業をより充実させ、障害児及び保護者への支援を強化します。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
評価に基づき取り組んだ結果、就労移行支援の利用者に変化はないものの、就労継続支援A型、B型の実績が対前年度比1割増となり、障害者就労に向けた支援が前進しました。	B 概ね達成
<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
保護者向けの両プログラムを実施し、参加後のアンケート結果でも、参加者全員から満足したとの回答があったことから、支援の強化を図ることができました。	A 達成

<b>具体的取組</b>	
計画で掲げた施策を推進するとともに、成果目標及び活動指標について、柏原市障害者自立支援協議会と連携し、PDCAサイクルに基づいた評価・点検を行います。	
所管室・課	障害福祉課
<b>具体的取組</b>	
新たな支援事業として、専門的支援を要する発達障害児等に対して個別療育を行うとともに、保護者が療育スキル等を習得するために「ペアレントプログラム」、「ペアレントトレーニング」を実施します。	
所管室・課	障害福祉課

<b>具体的な取組実績</b>
令和4年7月の柏原市障害者自立支援協議会全体会において、計画の実績をPDCAサイクルに基づいた評価・点検及び意見聴取を実施しました。また、毎月開催する同協議会事務局会議にて、目標達成に向けた課題抽出等を行いました。
<b>具体的な取組実績</b>
発達障害児に対する関わり方や日頃の悩みをテーマとし、ペアレントプログラムを参加者各5名を定員として全6回、ペアレントトレーニングプログラムを参加者各8名を定員として全4回実施しました。

<b>総合評価・総括</b>
コロナ禍でしたが、「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画」に基づき、発達障害児及びその家族に対する支援を開始し、また自立支援協議会を中心に、地域の相談機関との連携強化の取組を図ることができたと考えています。

<b>全体の達成度</b>
B 概ね達成

<b>今後検討すべきこと</b>
令和5年度は計画の最終年度となるため、自立支援協議会と連携し、厳正な評価及び点検を行い、目標達成に向けて取り組みます。また、次期計画策定に向け、ニーズの把握に努め、障害者サービス全体のボトムアップを目指します。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

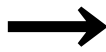
重点目標 3	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実
--------	--------------------------

今年度の達成目標
全ての子どもとその家庭及び妊産婦等が、切れ目のない支援を継続して受けることができる環境の充実をはかります。



達成状況	達成度
令和5年1月から開始となった伴走型相談支援及び妊産婦への経済的支援を行うことで、妊娠8か月面談と出生時面談を追加拡充することで、よりきめ細やかな支援体制を構築することができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
児童虐待の未然防止及び早期発見を図るとともに、見守りなど支援の必要な児童及び家庭全体の相談支援の充実をはかります。



達成状況	達成度
児童虐待の見守り機関の1つである小中学校に対して、研修を行うことができ、見守り支援体制の強化を図ることができました。また、ケース会議を通じて相談支援のあり方や関係機関との連携体制を整えることができました。	C 一部達成



具体的取組
子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを一体的運用し、支援の必要な家庭や子どもの情報を確実に共有・連携することで、切れ目なく相談・支援を実施します。



具体的な取組実績
未就園の在宅児童で支援が必要な子育て家庭については、養育支援訪問事業連携会議を月1回開催し、情報共有や支援方針の確認を行いました。また、発達に課題のある児童についても、就学に向けて切れ目のない支援の行うため、発達支援連携会議を年4回開催し、関係機関との連携を行い、支援の調整を行いました。



所管室・課	こども家庭安心課
具体的取組	
子ども家庭総合支援拠点に虐待対応専門員として専門職を1名増員し体制強化を図るとともに、要保護児童対策地域協議会の各機関と連携し、より効果的な支援を実施します。	
所管室・課	こども家庭安心課



具体的な取組実績
虐待対応専門員の増員は、できませんでしたが、要保護児童対策地域協議会(実務担当者会議)を年12回開催し、関係機関との連携を図り、個別ケース会議についても82回開催することで、個別支援の強化を図ることができました。また、教育委員会と連携し、「柏原市生徒指導講座」において、児童虐待についての研修会を開催しました。

総合評価・総括
虐待対応専門員の募集を継続的に行っていましたが応募がなく、増員することはできませんでしたが、関係機関と連携しながら、相談体制を整えることができました。子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体的実施について、様々な会議を通じて連携を強化でき、伴走型相談支援の開始に伴い、切れ目のない支援体制を整えることができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
制度の改正に伴う、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体的実施に向けて、妊婦から子育て世帯への相談体制のあり方について再構築が必要となっています。また、個別支援においては、ケースにより課題は様々であることから、職員のスキルアップや人材育成に重点をおいた体制を整えていく必要があります。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 4	子どもの健やかな成長を支援するための子育て世帯への支援の充実
--------	--------------------------------

今年度の達成目標
養育家庭訪問事業「ママプラス」について、さらにきめ細やかな支援へと事業の充実をはかるため、事業手法等を再構築し、より地域に根差した子育て支援を確立します。



達成状況	達成度
各地域の公立認定こども園保育教諭による訪問により、地域に根差した子育て支援を行うことができました。	A 達成

今年度の達成目標
放課後児童会で児童が安全に安心して過ごせる環境を整え、指導員の業務環境の改善をはかるとともに、事務の効率化による経費削減を目指します。



達成状況	達成度
環境整備面では、修繕等可能な部分に対応し、余裕教室の活用については各学校と協議を持つ段階まで進みました。指導員の業務環境改善と事務の効率化による経費削減については、一定の改善と効率化を図ることができました。	C 一部達成



具体的取組
生後7か月から1歳半までの子どものいる全ての家庭に、各地域の公立認定こども園の保育教諭が家庭を訪問する「すくすく訪問」を実施し、より身近に相談や支援を行います。



具体的な取組実績
出生や転入等により対象となる子どものいる家庭を、公立認定こども園の保育教諭が毎月地域ごとに家庭を訪問し、家庭で抱える様々な悩みや相談を聞くとともに、子育て支援に関する情報提供を行いました。また、訪問においては、あらかじめ市の保健師等と情報の伝達や共有を行うとともに、訪問後も必要に応じて関係機関につなぐなどの支援を行いました。



所管室・課	こども施設課
具体的取組	
経年劣化が進む児童会室について、校舎内余裕教室の活用に向けて検討を進めてまいります。また、指導員の出退勤システムを導入し、事務作業を軽減します。	
所管室・課	子育て支援課



具体的な取組実績
児童会室の校舎内余裕教室の活用については、教育委員会や各学校と協議の場を持ち、検討を行いました。指導員の出退勤システムについては、導入を完了し、運用を開始しました。また、これに合わせて報酬計算等に出退勤データを活用することで、事務作業を効率よく行う仕組みを構築しました。

総合評価・総括
「すくすく訪問」については、各公立認定こども園の保育教諭が訪問することにより、地域の対象となる子どもとその家庭に寄り添った支援ができました。放課後児童会については、まず環境整備の面で、老朽化等に伴う児童会室の今後について学校と協議を進めていますが、児童数が減少しているものの、現段階では余裕教室が生まれるまでには至らず、引き続き協議していくこととなりました。一方で、事務の効率化については、指導員の出退勤システムの導入により、一定の改善が図られており、さらなる改善につなげることができると考えられます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
「すくすく訪問」に関しては、訪問時の様々な相談内容に対応できるよう、訪問者の子育て支援に関する知識のさらなる充実に努めます。放課後児童会については、子どもの数が減少する中でも働き方の多様化等により入会児童は増えつつあることを踏まえ、より安全に安心して利用していただけるよう、環境面、運営面などあらゆる面について検討していきます。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 5	保育環境の充実と入所枠の適正化
--------	-----------------

今年度の達成目標
保育施設の給食の安定供給を目指し、令和6年度から全ての公立こども園、保育所において自園調理が開始できるよう準備を進めます。



達成状況	達成度
公立2施設の調理室改修工事が予定どおり完了しました。	A 達成

今年度の達成目標
年度当初の待機児童ゼロの達成を目指し、入所枠の適正化をはかります。



達成状況	達成度
公民合わせて保育士確保に取り組むとともに、ニーズの高い低年齢児の入所枠を拡大しましたが、国の定義による年度当初の待機児童はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことはできませんでした。	C 一部達成



具体的取組
令和6年度からの自園調理開始に向け、公立2施設の調理室改修工事を実施します。



具体的な取組実績
令和4年度は、かたしもこども園及び柏原西保育所の調理室を自園調理に対応できるよう改修しました。

所管室・課	こども施設課
具体的取組	
保育ニーズの変化に応じ、保育士の配置や確保等に公立・民間施設で柔軟に対応できるよう、民間保育園等の保育士確保の取組に対する助成を継続するなど、引続き入所枠の適正化に取り組めます。	
所管室・課	こども施設課



具体的な取組実績
公立施設では継続して保育士の募集を行うとともに、民間施設が行う保育士確保の取組に対し助成を行いました。また、ニーズの高い低年齢児の入所枠の拡大を図りました。



総合評価・総括
保育士確保の取組については、民間園8施設が22名の保育士に対し、市の補助制度を活用した一時金の支給を行うことで、保育士の新規雇用や離職防止に一定の効果があったものと考えています。また、保育士の配置や民間施設の協力により、低年齢児の入所枠を一定数拡大できましたが、令和5年度当初の入所希望数が増加したため、国の定義による待機児童数はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことはできませんでした。自園調理開始に向けての取組については、目標通り2施設の調理室改修工事が完了しました。また、調理室改修工事中も給食の提供を継続することができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
年度当初にすべての入所希望児を受入れることができるよう、保育士確保の取組を継続するとともに、公民合わせた受入れ枠の確保方策の検討を進めます。また、令和6年度からすべての公立保育施設で自園調理が開始できるよう、調理室の改修工事を実施すると共に、調理業務を行う事業者の選定を行います。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 6	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営による良質なサービスの確保
--------	----------------------------------

今年度の達成目標
福祉サービス事業者の健全な運営の確保を図るため、集団指導及び実地指導を実施します。



達成状況	達成度
市内全事業者に対し、集団指導を実施しました。また、実地指導を計画的に実施しました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
福祉サービス事業者が適正に運営できるよう、必要とする情報を迅速に提供します。



達成状況	達成度
事業所が必要とする情報を、迅速にオンライン等で提供しました。	A 達成



具体的取組
関係法令等に基づき、事業者の指導や監査等を実施します。



具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団指導については資料をホームページに掲載し、事業所には資料確認報告書を提出していただきました。また、可能な範囲で実地指導を実施しました。

所管室・課	福祉指導監査課
-------	---------

具体的取組
事業運営に必要な情報をホームページ等で発信します。



具体的な取組実績
報酬関係、届出関係や研修案内等、事業運営に必要な情報をメールやホームページ等で事業者へ発信しました。

所管室・課	福祉指導監査課
-------	---------



総合評価・総括
新型コロナウイルスの影響で、指導等を行うのが困難な状況でしたが、可能な範囲で実施しました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
事業者による福祉サービスが、さらに良質なものとなるよう指導・監査等を実施していきます。